ＪＲ東海労ニュース

№1142
2008年10月15日
ＪＲ東海労働組合

年末手当3．2ヶ月要求

満額獲得に向けて奮闘しよう！！

本部は10月15日、「2008年度年末手当に関する申入れ」を行ないました。

ＪＲ東海の夏季輸送期間の輸送量は、対前年比新幹線で102％、在来線で95％、全体で101％と昨年を上回りました。全て社員の努力によるものです。年末手当 3.2ヶ月を勝ち取ろう！！

ＪＲ東海労申第１３号
２００８年１０月１５日

東海旅客鉄道株式会社
代表取締役社長　松本　正之　殿

ＪＲ東海労働組合
中央執行委員長　　鈴木　富雄

２００８年度年末手当に関する申し入れ

サブプライムローン問題に端を発したアメリカの金融大手の深刻な影響を受けて、日本経済にもその影響が広がることが懸念される。また、他輸送機関との競争等、ＪＲ東海を取り巻く厳しい状況のなか、平成20年度４月～６月期の第１四半期連結会計期間における東海道新幹線の輸送人キロは、前年同期に比べ101％、在来線は100％となった。これは社員の休日出勤や日夜にわたる安全・安定輸送に対する努力の結果であることは言うまでもない。

さらに夏季輸送期間の輸送量では、東海道新幹線が対前年比102％、在来線の特急列車が同95％、合計101％と概ね順調に推移した。そして、新幹線の運転本数に至っては、お盆期間中では過去最多の一日平均337本（前年＋13本）を運転し、新幹線の８月17日上り乗車人員は234千人と、夏季期間では過去最多を記録した。また、11月21日には秋の期間中最多の373本を運転するなど、社員は最大限の努力をした。

したがって、この社員の努力と期待に十分応えるためにも下記のとおり申し入れるので誠意ある回答をすること。

記

１．年末手当は基準内賃金と補償措置額の3.2ヶ月分とすること。

２．組合員が納得しない年末手当のカットはやめること。

３．回答は、11月15日までとすること。

４．支払いは、12月１日までとすること。

以　上

日々額に汗して働く社員の最大限の努力に応えよ！